

# 一般質問通告事項一覧表

平成30年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
1	門田 淳	駅周辺の整備のあり方について	<p>今年3月22日に、新幹線まちづくり検討委員会より、今後の目指す姿としてとりまとめられた「北海道新幹線倶知安駅周辺のまちづくり提言書」を踏まえ、今年度は、新駅周辺の具体的な整備計画の構想を策定する中で次の点について町長にお伺いします。</p> <p>①市街地から羊蹄山・ニセコ連峰への眺望を確保するために高層建築を規制するなど、まちなみの景観づくりや建物の高さ規制などのルールづくりを早急に進める必要があると考えるが、景観対策ルールや高さ制限を含めた景観対策は。また、現在ある「倶知安の美しい風景を守り育てる条例」を基礎とし、駅周辺整備をしていくのか。</p> <p>②変わりゆく駅前通りや商店街への対策は。</p> <p>③今後の課題・問題点は。</p>	町長	
2	〃	観光振興について	<p>北海道内の外国人の人口が、総務省のデータによると2017年の道内外国人住民数は2万8,189人で4年前より33%増加している。</p> <p>本町の外国人住民数は1,648人(2018年1月時点)と1割を超え、住民税収入においても2012年度の8億2,100万円から18%増えて2016年度は9億7,100万円になる。観光客の増加も伴い、さまざまな波及効果が生まれていると認識しております。そこで次の点について町長にお伺いします。</p> <p>①なぜ観光関連予算が減少傾向にあるのか。</p> <p>②4月の人事異動により観光課職員を一人削減したのはなぜか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(2)	(門田 淳)		<p>次頁へ続く 前頁より</p> <p>③これからの通年観光ビジョンは。</p> <p>④町民全体に対して国際リゾート地としての意識を高める必要があるのでは。</p>		
3	古谷 眞司	少子高齢化の対策について	<p>第5次総合計画の検証も終了し、第6次総合計画の策定に進んでいるところであります。</p> <p>一人一人が暮らしやすい、そして魅力あふれ、活力ある街になるためには少子高齢化に対して如何に対策していくかが大きな要因と考えます。</p> <p>町内のあらゆる資源を活用していく事も大切と考えます。</p> <p>そこで町長に伺います。</p> <p>①高齢者の一人住まい、また高齢者夫婦の住まいが増えている。</p> <p>地域会館等のバリアフリー化が遅れている。</p> <p>家族世帯が住めるアパートが少なく高値である。</p> <p>街中の土地も高くなっている。</p> <p>以上の生活環境の対策について伺います。</p> <p>②本町には倶知安高校、倶知安農高の道立高校がありますが、両校とも定員割れが続いています。町内の両校への進学率は6割から7割程と推察されます。少子化の対策としては幼小中の教育環境の充実、魅力ある高校の存在が大切と考えます。</p> <p>現在、町内町外から両校へ通学する生徒への支援はありますか。</p> <p>両校への進学率を上げるための対策はありますか。</p> <p>町外からの生徒を呼べる環境（主に下宿）を整える事は考えられますか。</p> <p>以上の事を伺います。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
4	木村 聖子	「こども 110 番の家」 運営状況について	<p>5 月新潟県で発生した児童連れ去りの痛ましい事件をはじめ、全国では子どもたちを狙った悪質な事件が後を絶ちません。 このような事件を防ぐには、犯罪を起こさせない環境づくりが重要と考えます。 そこで本町の取り組みについて伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 役割について（町長）</li> <li>2) 登録要件と登録数について（町長）</li> <li>3) 防犯カメラを活用した本町と警察、地域の連携の可能性について（町長）</li> <li>4) 学校における指導要領について（教育長）</li> </ol>	町長 教育長	
5	〃	「北海道自転車条例」 施行に伴う安全対策 と観光施策について	<p>平成 30 年 4 月 1 日に北海道自転車条例が施行されました。 折しも道内ではこの春、自転車と歩行者が接触するひき逃げ事故が続発し、自転車運転の交通ルール・マナーの徹底意識を高めることが急務となっています。 本条例の〈基本理念〉第 3 条 自転車の活用及び安全な利用の推進は、「環境への負荷の低減」、「道民の健康増進」、「自転車利用者及び歩行者の安全確保」、「サイクルツーリズムの振興」に資するように行わなければならないとされています。 そこで本町としての取り組み姿勢について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 普及啓発について（町長）</li> <li>2) リバーパークの利活用について（町長） <ol style="list-style-type: none"> <li>① サイクルロードの延伸、整備</li> <li>② 道道、国道等との接続道路の整備</li> </ol> </li> <li>3) 子どもたちに対する安全対策について（教育長）</li> </ol>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
6	作井 繁樹	広域連携の費用対効果	<p>1、羊蹄山ろく消防組合</p> <p>(1) 年間の負担額 今年度の負担金は 3 億 5,980 万円、年々少しずつ増額傾向にあるが、本町の年間負担額、5 年間の平均額を伺う。</p> <p>(2) 想定される新たな負担額 「消防力整備 10 年プラン」を完遂した場合に想定される本町の新たな負担額を伺う。</p> <p>(3) 費用対効果の見解 消防組合の費用対効果に対する本町の見解を伺う。</p> <p>2、羊蹄山麓環境衛生組合</p> <p>(1) 年間の負担額 今年度の負担金は 3,696 万円、年々少しずつ減額傾向にあるが、本町の年間負担額、5 年間の平均額を伺う。</p> <p>(2) 想定される新たな負担額 老朽化した施設の中・長期的な補修計画で想定される本町の新たな負担額を伺う。</p> <p>(3) 費用対効果の見解 環境衛生組合の費用対効果に対する本町の見解を伺う。</p> <p>3、地域医療（厚生病院関連）</p> <p>(1) 年間の負担額 今年度の救急医療等体制整備補助金は 7,603 万円と減額傾向、救急医療体制整備補助金は 3,312 万円と増額、産婦人科医師確保対策事業補助金は 720 万円と据え置きであるが、その他地域医療（厚生病院関連）に関する負担額を加えた本町の年間負担額、5 年間の平均額を伺う。</p> <p>(2) 想定される新たな負担額 老朽化した施設の建て替え・補修計画で想定される本町の新たな負担額を伺う。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(6)	(作井 繁樹)		<p>前頁より</p> <p>(3) 費用対効果の見解 地域医療の費用対効果に対する本町の見解を伺う。</p> <p>4、後志広域連合</p> <p>(1) 年間の負担額 今年度の広域連合一般会計分負担金は 974 万円、この部分は明確だが、介護・療養給付費を除く事務費等、広域連合を維持するための負担額が複雑で分かり辛い。本町の年間負担額、5年間の平均額を伺う。</p> <p>(2) 想定される新たな負担額 システム更新等、今後 5 年程度で想定される本町の新たな負担額を伺う。</p> <p>(3) 費用対効果の見解 広域連合の費用対効果に対する本町の見解を伺う。</p> <p>5、後志教育研修センター組合</p> <p>(1) 年間の負担額 教研センター組合負担金は 1,015,300 円、平成 18 年度以降据え置きであると承知しているが、建物使用料減免による本町の年間損失額を伺う。</p> <p>(2) 想定される新たな負担額 今後 5 年程度で想定される本町の新たな負担額を伺う。</p> <p>(3) 費用対効果の見解 教研センターの費用対効果に対する本町の見解を伺う。</p>		
7	〃	新幹線延伸に伴う課題	<p>1、開業前倒し 2026 年から 2030 年のオリ・パラ招致に方針を転換しようとしている札幌市は、北海道新幹線札幌延伸・開業を 2029 年中、約 1 年半前倒しするよう政府・与党に要請する方針を固め、北海道も前向きに対応する考えを示している。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(7)	(作井 繁樹)		<p>前頁より</p> <p>本町の姿勢・見解を伺うとともに、これまでは“これ以上の前倒しは技術的に困難”と認識していたが、約1年半の前倒しを実現するためにクリアしなければならない課題を伺う。</p> <p>2、屋根（シェルター）の取り扱い  旧東陵中グラウンドで行われていた模擬高架橋による雪害対策試験が終了した。本町はこれまでも関係機関に「景観・眺望を考慮した雪対策、窓の検討」を要望してきているが、今般の試験結果を踏まえ、鉄道・運輸機構は屋根（シェルター）の取り扱いをどのように考えているのか、見解を伺う。</p> <p>3、駅北側新幹線用地の移転対策  (1) 移転対象予定者への意向調査  2月に実施された移転対象予定者の意向調査の回答率は55%、そのうち居住形態については39%が未定・無回答、つまり全移転対象者の66%が未定・無回答、宅地造成計画の参考とするには無理がある。  今月実施予定の追加調査は、再度全移転対象予定者（113人）を対象とするとともに、高齢者向け住宅確保の参考ともなり得るよう、年齢確認方法を工夫すべき、見解を伺う。</p> <p>(2) 高齢者向け住宅の確保  選挙公約でもあり、議会の質疑においても前向きな答弁を繰り返してきた高齢者向け住宅の確保、今月実施予定の追加調査結果でも、その必要性を再認識することになることは言うまでもない、実現するための具体的な方針を伺う。</p> <p>次頁へ続く</p>		

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(7)	(作井 繁樹)		<p>前頁より</p> <p>4、駅前再開発  新幹線まちづくり検討委員会からの提言を基に、現在“新駅周辺整備構想”の策定が進められているが、その当該地区である駅前通り周辺の土地の相当程度が外国人・外国人代表法人等が所有し、今後も増え続けることは明らかであり、整備構想どおりに再開発が進められるかは疑問である。  「ここだけは」というべき最低限の土地“北一街区”あるいは“石造り倉庫”等は土地開発公社等を活用して確保すべき、見解を伺う。</p> <p>5、車両設備  車両設備に関し、本町はこれまでも関係機関に「Wi-Fi 環境の整備」あるいは「荷物収納スペースの確保」を要望してきており、画一的ではない地域性を考慮した車両の設計を引き続き要望すべきであることは言うまでもないが、新幹線を活用した“救急搬送”も検討すべきであり、今後、「荷物収納スペースの確保」については、最低限ストレッチャーが収まるだけのスペース確保を念頭に要望すべき、見解を伺う。</p> <p>6、駅舎設備  駅舎設備に関し、本町はこれまでも関係機関に「荷物の一時預けスペースの確保」あるいは「十分なホームの空間と移動のための最小幅の確保」を要望してきており、こちらも画一的ではない地域性を考慮した駅舎の設計を引き続き要望すべきであることは言うまでもないが、新たにストレッチャーが収まるサイズのエレベーターを、倶知安駅のみならず、(仮称)新小樽駅、札幌駅についても設置を要望すべき、見解を伺う。</p>		
8	山田 勉	獣害対策について	<p>6月4日の経済建設常任委員会で5月28日現在の有害鳥獣の出没状況について報告がありました。</p> <p>本年度予算では、電気柵補助15台分と狩猟免許補助として112万円が計上されており、前年度予算より9万8千円の減となっています。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(8)	(山田 勉)		<p>前頁より</p> <p>北部地区の新幹線工事の発破等により、熊などの行動範囲が変化していると推測しており、巽・豊岡地区にも出没してきています。近年、アライグマの出没も増加傾向にあり、今後の被害の対策について伺います。</p> <p>①ヒグマの捕獲檻の数とアライグマの捕獲罠の数、鹿のくくり罠の数はそれぞれどのくらいか。</p> <p>②アライグマの罠が古く反応が悪いという話を聞くが、更新と増設対策の考えはあるか。</p> <p>③生産現場では鹿の被害が著しく、苦慮している。対策に電気柵の設置増と駆除が考えられるが、昨年の補助実績数と今後の更なる対応策は。</p> <p>④被害対策協議会を通じて猟友会に駆除を委託しているが、猟友会の足並みが乱れていると聞いており、対応策を農林課で検討しているが進展していない。現状について町長の見解を伺います。</p>		
9	田中 義人	公共施設管理について	<p>平成 28 年度に定められた倶知安町公共施設管理等総合計画によると、平成 28 年からの 40 年間で、道路・橋梁を含めた公共施設全体の更新費用は約 1,040 億円、道路などを除く公共施設だけでもおよそ 510 億円と試算されています。</p> <p>年平均で全体では 26 億円、建物だけで 13 億円の投資的経費が試算されている事を踏まえ、以下を町長に伺います。</p> <p>1 公共施設管理等総合計画の試算は物価上昇などが見込まれていません。今後の計画実施には再試算が不可欠と考えます。再試算後の見込み額を伺います。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(9)	(田中 義人)		<p>前頁より</p> <p>2 現存の建物機能をそのまま更新するのではなく、人口動態と時代のニーズに合わせ、複合施設として合理化を図るべき、見解を伺います。</p> <p>3 公共施設の長寿命化や新役場庁舎の議論を進める中、旧東陵中学校の活用は財政的にも住民サービス向上にも大きな意味があると考えます。町長の見解を伺います。</p> <p>4 図書館が難しいのであれば電子図書館、町全体の公共施設のLED化など、コスト削減や出来る形でニーズに応える様に対応し、目に見える施策が必要と考えます。町長の見解を伺います。</p>		
10	〃	ゴミ回収の抜本的改革を	<p>倶知安町は人口およそ 15,000 人に合わせた行政サービスを提供しているが、冬には観光客と短期住民による人口増加でおよそ倍になるのは周知の事実です。</p> <p>そこで、観光エリアのみならず住宅街でも顕在化してきたのがゴミの問題です。</p> <p>特に回収段階の問題が住民に直結しており、回収不能のゴミを出しているのは観光客や冬季間スタッフによるものが殆どです。また、民泊に対し具体的な対策を打ち出していないことも、住民の不安に繋がっております。</p> <p>いわゆる「観光ごみ」は分別などのルールを理解できない層に対する新たな対応が必要で、抜本的な見直しを行わなければならない、以下を町長に伺います。</p> <p>1 ニセコひらふエリアで試行されている、ごみ回収方法から活かせることは。</p> <p>2 住民ごみと観光ごみの回収費用や方法に差異を設け、指定回収事業者との連携を強化して推進すべき。現在、町が許可している回収事業者数とその連携内容は。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(10)	(田中 義人)		<p>前頁より</p> <p>3 特に外国人は罰則規程を定めなければコントロールは難しいことが総体的に言える。ゴミ出しの罰則について、町でかけられる規制は。</p> <p>4 その他、今後増え続けると思われる、ごみの問題についての対応策は。</p>		
11	榊 政信	高齢者・障がいのある方が安心して暮らすために	<p>第7期高齢者保健福祉計画が3月に策定されました。平成30年から32年度までの3年間の計画の期間です。</p> <p>昨年の町長の答弁のとおり、第7期高齢者保健福祉計画の「計画目標」は、第6期の目標をそのまま踏襲しております。つまり、元気老人を目指す、自立を支える社会、高齢者の社会参加の支援、安心して生活できる環境整備、地域共生社会の実現と比較的元気な高齢者を対象としています。</p> <p>保健福祉計画と連動する「第7期介護保険事業計画」は、後志広域連合で策定されており、その計画目標は、地域包括ケアの推進、介護予防事業の推進、介護保険事業の円滑な運営となっています。本来は、町で策定されるべきものと思いますが如何でしょうか。</p> <p>そこで、以下の点を伺います。</p> <p>①根拠法の老人福祉法が求めている「老人福祉事業の量の目標」が不明確なようです。町の総合計画策定でも指摘されているように数値目標がないとPDCAサイクルの評価がしづらいついと言えませんか。</p> <p>②介護保険事業計画は、16町村が参加している後志広域連合で策定しており、本町独自の現状やニーズが分かりづらく、対策自体もズレが生じているのではないかと不安です。町としての精査が必要ではないですか。</p> <p>③個別の支援や介護において、健康保険と介護保険の棲み分けがあり、壁があるように感じます。ここまでしかできない、同時にできない、といった課題があるように思えます。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(11)	(榊 政信)		<p>前頁より</p> <p>④個別の支援や介護を受けるにあたって、介護認定を受け、ケアプランの作成を依頼するといった入口になかなか入れない事例が多いのではないのでしょうか。計画で地域ネットワークの重要性を指摘していますが、個人情報保護や町内会加入率の低下などの壁があります。</p> <p>入口に入れないと始まりません。どの様に対処されますか。</p> <p>現状は、人材不足など多くの課題があると思いますが、高齢者も障がい者も安心して暮らせる町であってほしいと思います。町長の所見もお聞かせ下さい。</p>		
12	〃	町の商工業が疲弊しているのではないか	<p>ひらふ・花園エリアのコンドミニアムなどのリゾート施設や市街地のアパート建設が活況を呈しています。北海道新幹線のトンネル工事も進んでおり、札幌延伸があと12年後となってきました。高速道路工事の準備も進んでいるようです。</p> <p>そんな景気の良い話の陰で暗い話を聞く機会が増えてきています。</p> <p>駅前通りや中心街の老舗の商店が閉店や売却をされているようです。おもちや屋さん、金物屋さん、自転車屋さん、洋服屋さん、家具屋さん、八百屋さん、食料品店、地元スーパーなど店主の高齢化や後継者問題などそれぞれの事情があるのですが、店じまいの連鎖が続いています。購入者は外資系が多いとも聞きます。</p> <p>これから新幹線新駅周辺の整備構想の策定が進められようとしている時に商店が廃業していく事態となってきています。この現状を町長はどう捉えておりますでしょうか。</p> <p>また、本年4月に3つの保育所を統合した「くっちゃん保育所ぬくぬく」が開所しました。木のぬくもりいっぱい真新しい保育所で子どもたちがすくすくと育ってくれるものと期待をしておりますが、こども園との連携した子育て体制になったことで、バスの送迎や土曜保育などの課題が生じております。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(12)	(榊 政信)		<p>前頁より</p> <p>さらに、子どもたちの給食を町外の事業者へ外部委託したことで、これまで9割近くの賄い材料を町内の商店から購入していたものが半分以上に減ったとの苦情も聞きます。行政が地元の商店の経営を圧迫するようなことになっていませんか。実態はどのようなのでしょうか。</p> <p>昨年、稼働した学校給食センターも町外事業者へ外部委託しておりますが、保育所のようなことになってはいないのでしょうか。町内の小売業者、ひいては、倶知安町地方卸売市場にも影響が及ぶかも知れません。実情を伺います。</p> <p>本町では、平成24年に倶知安町中小企業振興基本条例を施行しましたが、町の責務を果しているのでしょうか。中小企業の振興がおろそかになっていませんか。</p> <p>町の商工業が疲弊しているように見えます。現状や今後の対策について説明願います。</p>		
13	阿部 和則	町有資産の活用について	<p>行政の意志と関係なく今の倶知安にはやらなければならないこと、作らなくてはいけない物が山ほどあります。今までの経緯や町民側に立って優先順位を考えてください。各種アンケート調査も読み直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問口除雪や除雪ヘルパー制度の拡充、除雪ボランティア制度の確立など総合的な雪対策の充実</li> <li>・ 住み替えのしやすさなど高齢者の住環境の整備や老朽化した町営住宅の建て替え</li> <li>・ 12年後に開業する駅周辺の整備計画と早期着手</li> <li>・ 厚生病院の改修費の負担</li> <li>・ 交通ターミナルや会議場を備えたひらふ高原地区観光中核施設の再建設</li> </ul> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ												
(13)	(阿部 和則)		<p>前頁より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ台の撤去、公民館のエレベーター設置、プールの新設、役場庁舎の建て替え、世代交流センターの大規模改修か移転、旧東陵中学校の活用か解体、オリンピックの負担金、G20の負担金等々</li> </ul> <p>現在進行形のもの、民間主導で進んでいるもの、一度断念したもの、事業予算のはっきりしないもの、新幹線開業までに目鼻をつけなくてはいけないもの、いろいろありますが、総額でザット70～100億円にもなり、すべていづれ手を付けなくてはいけないものばかりです。</p> <p>では、どのくらいお金を借りられるのでしょうか。</p> <p>ちょうど10年前の財政との比較</p> <table border="1" data-bbox="801 707 1659 815"> <thead> <tr> <th></th> <th>基金（貯金）</th> <th>町債（借金）</th> <th>実質公債費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年</td> <td>12億5千万円</td> <td>140億円（特会込）</td> <td>20.4</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>17億6千万円</td> <td>118億円（特会込）</td> <td>7.90</td> </tr> </tbody> </table> <p>この比較からもわかるように、あと25億円の町債発行でほぼ起債発行制限区域に入ります。</p> <p>倶知安町は、札幌ドーム300個分の土地とおよそ4,000坪の建物を有しています。お金はないけど、資産はあるのです。足りない分は、この資産を活用してはいかがでしょうか。勿論、町民の大切な財産ですから単なる切り売りはご法度です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、町民の福祉向上のために使うこと</li> <li>・あるいは、町の発展につながり、町民がその恩恵を享受できる使い方</li> </ul> <p>行き当たりばったりはいけないと思います。</p> <p>次頁へ続く</p>		基金（貯金）	町債（借金）	実質公債費率	平成20年	12億5千万円	140億円（特会込）	20.4	平成30年	17億6千万円	118億円（特会込）	7.90		
	基金（貯金）	町債（借金）	実質公債費率														
平成20年	12億5千万円	140億円（特会込）	20.4														
平成30年	17億6千万円	118億円（特会込）	7.90														

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(13)	(阿部 和則)		<p>前頁より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何の施設が必要で何が不要なのか。施設ミックスは考えたのか。</li> <li>・処分可能な資産の洗い出しも必要になります。</li> <li>・施設の緊急性を考慮した年次計画も必要になります。</li> <li>・最後に、かかるお金と借りれるお金との差額＝資産活用額となります。</li> </ul> <p>有識者や民間からも意見やアイデアをいただき、至急この協議会的な場を立ち上げるべきと思いますが町長のお考えをお聞かせください。</p>		
14	森下 義照	倶知安町防災計画整備状況について	<p>平成 29 年 12 月第 4 回定例議会において防災関連の質問に対して、不備なところは新年度までにはそれぞれ改善、周知を実施すると回答を受けましたが、その状況について再度質問いたします。</p> <p>1</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 編成組織について</li> <li>2) 編成に基づく各班の任務の周知について</li> <li>3) 平日、休日における災害時に対するそれぞれ編成完結時間</li> <li>4) 町内会全体に地区防災計画の策定計画を 1 月を目途に依頼すると言われたが、可能となったのか。また、計画にそって教育がされているのか。</li> <li>5) 防災無線の拡大貸与や他の伝達方法をふまえ検討するとのことでしたが、その結果は。</li> <li>6) 防災資機材や物品等の保管場所について現状維持なのか。</li> </ol> <p>2 倶知安町の避難所、避難場所について、新規に登録された場所・施設はあるのか伺います。</p>	町長	
15	三島 喜吉	北海道新幹線と移転対策について	<p>北海道新幹線事業での二ツ森トンネル工事も進捗率 24%となり、来年からは羊蹄トンネルの堀削が始まる予定とされています。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(15)	(三島 喜吉)		<p>前頁より</p> <p>今年の2月2日～3日にわたり駅以北移転対象予定者への説明会が開催されております。移転対象予定者の意向調査として対象者が113名おられるとのことですが、まだまだ今後どうしていくか結論が出ていない方が半分以上いるとのことでもあります。</p> <p>倶知安町はこの移転対策として、胆振線跡地での宅地造成として40区画の造成を今年度調査・測量を実施していく予定と聞いておりますが、移転対象者からみても半分以上の方々の手当をどうするか重要な問題と思っております。町外に移転したいと思っている方が5%おられるとのことですが、これ以上町外転出を増やすことなく早急に住宅対策を立てていく必要があると思っておりますが、町長のお考えをお聞きします。</p>		
16	〃	旧東陵中学校の再利用計画について	<p>東陵中学校が平成25年3月に学校統廃合で廃校となり5年が経過し、この間、各方面からの打診もあったと思っておりますが、まだ一定の方向性が定まらない中で今日を迎えております。</p> <p>これから再整備のための給排水設備・電気設備の改修等で相当の予算が必要とされてくるものと思われまます。</p> <p>現在、ジャズバンドの練習場や冬季間のソフトボール少年団の練習場として使用されていると理解しております。</p> <p>耐震改修を終えたこの中学校を何とか再利用し、町民の集う場として再利用していただきたいと思っております。</p> <p>そこで、現在この施設の利用について打診があるのかどうかお伺いいたします。また、今後の再利用計画について町長のお考えを伺います。</p>	町長	
17	小川 不朽	JR 倶知安駅のバリアフリー化の推進について	<p>わが国わが町において、今後さらに高齢化が進んでいく中で、障がいのある方々も含め、あらゆる人が活力ある日常生活を送り、社会活動に参加できる「ユニバーサル社会」の実現がますます求められる。また、わが町においては、国内外からの観光交流人口も増大している。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(17)	(小川 不朽)		<p>前頁より</p> <p>国土交通省鉄道局は、鉄道駅のバリアフリー化を「社会福祉政策」ととらえ、円滑に推進するためには各地方公共団体の意識と熱意が大きく鍵を握っているとしている。</p> <p>JR 倶知安駅のバリアフリー化（エレベーター設置、線路連結切り替え、1 番線埋め立て等々）の実現に向け、JR に対して積極的に要請を図ることが重要と考えるが、町長の見解を伺う。</p>		
18	〃	北海道新幹線トンネル工事の発生土について	<p>環境基準を超える自然由来の重金属を含む掘削土について、現在、峠下の仮置き場に 21,680 m<sup>3</sup>の要対策土（ヒ素・鉛含む）を一時保管している。今後は二ツ森トンネル（鹿子）からはセレンを含む要対策土、さらに羊蹄トンネルからはヒ素・鉛を含む要対策土が掘削される。</p> <p>これら要対策土の最終受け入れの場所や運搬時期、管理方法など伺う。</p>	町長	
19	〃	倶知安保育所跡地利用について	<p>倶知安保育所解体後の跡地利用について、2016 年 3 月議会で町長は「公園や道路、狭隘する中学校の駐車場など、地域の生活環境整備に重点を置いた利活用を考えている」などと答弁した。</p> <p>今年度解体されるが、跡地利用についての計画を伺う。</p>	町長	
20	笠原 啓仁	「子ども・子育て支援」について	<p>「子ども・子育て支援」に関し、以下の点についてお尋ねします。</p> <p>1.子ども支援</p> <p>①「子どもの貧困」対策について</p> <p>今年度実施予定の「子どもの貧困」に関する実態調査の現時点での取り組み状況についてご説明ください。また、調査結果に基づく今後の取り組み方針についてもお聞かせください。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(20)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>②児童虐待対策について 児童虐待件数が年々増えています。本町における防止と対策に向けた体制と取り組みについてご説明ください。</p> <p>2.子育て支援</p> <p>①本町における新たな子育て制度について 「子どもの送迎」「土曜保育」「経費補助」などについては、新制度がスタートする以前から町としてのしっかりとした対策が求められていました。それらの現在の状況についてご説明ください。</p> <p>②幼児教育の無償化について 来年の消費税率引き上げに併せて国は幼児教育の無償化を来年度から実施するようです。本町への影響はどのようなことが考えられますか。</p>		
21	〃	『民泊新法施行』 町としての対応をしっかりと	<p>この6月15日、「民泊新法」が施行となりました。住宅宿泊事業を営む事業者は保健所への届け出が必要となりますが、保健所を持たない本町にとっては事業者との直接のやり取りはありません。</p> <p>しかし、外国人観光客が多い本町にとって今後、宿泊事業者の増加が想定されますので、本町としてもしっかりと対応が必要になると思われます。そこで、以下の点についてお尋ねします。</p> <p>①本町での「登録事業者」の状況 ごみや騒音など民泊事業の展開によって想定されるさまざまな問題への対策を講ずるために必要なこととして、町長は次のように述べています。昨年9月定例議会での田中議員の質問に対する答弁です。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(21)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>「民泊によるごみについては、事業の一環として排出されることから、事業系ごみとして扱うものとなりますが、宿泊事業者及び管理業者には適正な処理をするよう周知してまいりたいと思います。そのためには、北海道から民泊事業者の届け出リストを提供していただく必要があることから、速やかなリスト提供について強く要請してまいりたいと考えております」</p> <p>リストは入手されたのでしょうか。また、事業者に対しては当面、どのような取り組みを行う予定でしょうか。</p> <p>②宿泊業を生業としている事業者との協議状況</p> <p>昨年6月の私の私の一般質問に対する答弁で町長は、次のように述べています。</p> <p>「生業としているホテル、宿泊業のコンドミニウムを今までしっかり取り組んでこられた事業者さんとも、そのあたりについての商売にどう影響するのかも含めて、しっかり議論しなければ、安易に民泊をよしとするというわけにはいかないというふうに思っていますので、そこのところについては今後しっかり庁内としても議論していかなければならないというふうに思っています」</p> <p>庁内議論や（生業としている）事業者との議論はされましたか。</p>		
22	〃	『森林吸収プロジェクト』 どのような取り組み ですか	<p>「森林吸収プロジェクト」の実施に当たり協議会を立ちあげたとのこと です。プロジェクトでは国の「Jクレジット」を活用するとしています。</p> <p>協議会の構成メンバーには本町と本町の観光協会が入っていますが、「J クレジット」制度を含めプロジェクトの内容がよくわかりません。どのよ うな取り組みなのかご説明ください。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
23	笠原 啓仁	『入札時の予定価格』 公表しないのはなぜ ですか	<p>自治体における入札時の「予定価格」の公表に関しては、①事前公表②事後公表③公表しない、の3通りがあると思います。全国的な傾向としては、試行も含め事後公表制度を導入する自治体が増えているようです。本町においては事前も事後も公表していません。そこで、以下の点についてお答えください。</p> <p>①「予定価格」を公表しない理由。</p> <p>②かつて本町において事前公表を試行的に実施した経緯があります。事後公表についても試行的に実施する考えはないのでしょうか。</p>	町長	
24	〃	『小学校適正配置』 次期総合計画に間に 合いますか	<p>以下は昨年3月の定例議会での学校適正配置に関する一般質問での私と町長・教育長とのやり取りです。</p> <p>(笠原) 「先ほど次期総合計画に間に合うように(策定する)ということですから、少なくとも30年度中には、僕の判断からすると、やりますよということだと思うね。そういう私の推測といたしますか、認識で、基本的に正しいのかずれているのか、そのところをもう一度お願いします。」</p> <p>(教育長) 「次期総合計画が平成32年度からのスタートに向けまして平成30年度、31年度ではいろいろな検討がなされるというふうに思っておりますので、それらの計画の策定期間とも整合性をとりながら、小学校の適正配置の実施計画を策定してまいりたいというふうに考えているところです。」</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(24)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>(町長)</p> <p>「昨年 5 月に小学校適正配置の基本計画が策定されました。今後においては、いろいろなまちづくりの今の大きな変容の中において、それを見きわめながら今後、実施計画を策定していくという形になりますけれども、平成 31 年度末には新しい総合計画が策定される予定であります。その中に適正配置計画の姿を入れたいといけないのではないかなとなれば、当然実施計画をつくって、そこに盛り込むべきものだというふうに考えております。」</p> <p>第 6 次総合計画の策定に向けた庁内議論は始まっています。適正配置に向けた実施計画の策定作業は進んでいるのでしょうか。町長・教育長が答弁したように、次期総合計画のスタートに間に合うのでしょうか。</p>		
25	原田 芳男	子育て支援の充実及び問題点の解決を考えていますか	<p>1 新しい子育て支援のためのこども園への移行と、統合保育所の開設に伴って保護者から改善を求めて町長及び議会に繰り返し要望書や陳情書が提出されました。その内容は概ね次の 3 点です。</p> <p>①新しい制度での民間のこども園に通うと今までの町立保育所の 4 倍の負担となるのでその解消を</p> <p>②二つ以上の施設に通う場合、送迎が大変なので解決を</p> <p>③こども園では土曜保育を実施しないところもあるので、この対策の実施を</p> <p>これらの問題提起された陳情は 3 月定例で全会一致で採択されました。町は当事者としてどのように取り組むのか明確にすべきであり答弁を求めます。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(25)	(原田 芳男)		<p>前頁より</p> <p>2</p> <p>①放課後児童クラブは、俱知安町の条例で小学校6年生まで利用できることになっています。 しかし、実態は小学校低学年までしか利用できません。 一般質問でも、討論でも何度も指摘しましたが、条例違反の状況を正そうとしません。 高齢者生活支援制度でも、公営住宅の減免でも、町民に対しては決まりを楯に厳しい対応をするのに、放課後児童クラブの問題では様々な理由をつけ町の責任をタナアゲして実施しようとしません。そのようなことは許されません。 小学校6年生までの利用の実施について明確な答弁を求めます。</p> <p>②比羅夫、樺山の子どもたちが放課後児童クラブを利用したとき、帰り道をどうするかという声が寄せられています。 迎えに行きたくても仕事の都合で遅くならないと送迎できない時もあり、なんとかならないか悩んでいますと深刻な声が寄せられています。 町としてどのようなことが出来るでしょうかお答えください。</p> <p>③遠隔地から高校に進学する時、特に冬場はバスの利用が多くなります。 例えばひらふスキー場地区から通学する場合、片道400円かかり定期券も高額になります。このことも一因となって他地区の高校への転出につながると思われます。 将来、俱知安への永住を考えたとき、この子らへの援助は町の発展に大きく寄与するのではと思います。高校生の通学バスへの援助が出来ないか(通学バスへの利用も) 町長はどのようにお考えでしょうか、お示しください。</p>		

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
26	原田 芳男	学校教育について	<p>道徳が教科として示され教科書が採択されました。保護者の方から内容に納得できないところがあるとお話がありました。まるで戦前の教科書のようなだと言っています。</p> <p>①道徳の教科書の選定の仕方について</p> <p>②倶知安町の教科書はどのようになっていますか</p> <p>明確な答弁を求めます。</p>	教育長	
27	〃	高齢者の暮らしを守るために	<p>年を重ねると病院に行く機会が増えます。入院をするかたも多くなります。今多くのお年寄りが心配しているのは、病院代がいくらになるのかということです。</p> <p>とりわけ入院すると大変心配となります。現在の政治はそのような心配に答えているのでしょうか。国保税や介護保険料、後期高齢者医療保険料など値上げ、値上げです。年金が下がる中で暮らしは大変になっています。</p> <p>先日ある高齢者のお話を聞く機会がありました。ちょっと入院したら医療費の他に食事代も請求されたがその高いのにびっくりしたと話していました。</p> <p>調べてみると 2000 年は一日 3 食で 780 円だったのが 2016 年には 1,380 円となり、加えて 1 日 320 円の部屋代まで取られています。合計 1 日医療費の他に 1,700 円の負担です。月に 5 万円以上の負担になります。</p> <p>安倍政権のやっていることはほんとにひどいと思います。</p> <p>町として何らかの施策は考えられないのでしょうか。例えば高齢者生活支援給付金の制度を改善して対応することは出来ないか。</p> <p>「この制度は支給条件として①前年の収入が単身世帯で 100 万円、二人世帯で 140 万以下②預貯金が収入の 1.5 倍以下③預貯金通帳の持参が条件で通帳を見られたくないと申請しない方もいます。制度として年収要件のみで支給するよう改める必要があります。」</p> <p>いかがでしょう町長の答弁を求めます。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
28	原田 芳男	G20閣僚会議の誘致・札幌冬季五輪の会場誘致などについて	<p>1 G20 閣僚会議の誘致を巡っては町民からさまざまな批判があり、大きな不信感をまねいています。 議会も町長の責任は重いと受け止め、給与の減額を決めました。また、議会も議員報酬を減額したところです。 しかし、町民からは議員報酬の減額については疑問だと声をかけられます。また、国際会議場が頓挫しても、町民がどう思おうが G20 閣僚会議を強行する姿勢にも疑問が呈されています。 今回も補正予算が提案されましたが、今後、閣僚会議開催までに町費の持ち出しはいくらになるのでしょうか。町民に明らかにすべきです。</p> <p>2 札幌冬季五輪の競技会場誘致についても倶知安町はいくらの出費が迫られるのでしょうか。このことを曖昧にして先に進むことは出来ませんし、この検証をしないで取り組むことは無責任では無いのでしょうか。 子育て支援も、福祉ハイヤーも、間口除雪も、福祉灯油も住民の願いにはことごとくソッポを向きながら疑問には答えず、なし崩しに進める姿勢は厳しく問われています。 町の負担はどうなるのか明らかにしてください。</p>	町長	
29	〃	新幹線の諸問題・在来線の存続などについて	<p>1 新幹線はトンネル工事が進められており 2030 年開通と予定されています。 しかし、トンネル工事の掘削土からは基準値を超えた重金属の検出がされ、花園の捨て場や仮置き場での雨水などの影響が心配されています。環境汚染は無いのでしょうか。 花園地区では稀少動植物が確認されているし、尻別川への有害物質の流入は無いのかとも心配されています。 仮置き場も捨て場も行き着く先は尻別川です。 尻別川は「清流日本一」にランク付けされており「イトウ」の保護活動が行われていますし、蘭越ではヤツメウナギも漁獲されています。 尻別川の汚染はないのか科学的証明が必要です。所見を伺います。 次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(29)	(原田 芳男)		<p>前頁より</p> <p>2 在来線の存続問題は地域住民にとっては大きな問題です。          北海道新幹線の着工認可に当たっての確認事項によれば、JRからの経営分離の確認でしかありません。在来線の存続が前提になっています。          沿線自治体では、住民が在来線の存続を求めて運動を強めています。          我が町としても在来線の存続を強く求めるべきではないでしょうか。          倶知安だけ新幹線の駅が出来るからいいという立場をとるのでしょうか。それでは身勝手では無いでしょうか。枝葉があつて初めて生きる新幹線という広い視野が求められます。          町長の所見を求めます。</p>		
30	坂井 美穂	<p>地域住民で子育て支援～          ファミリーサポートセンターについて</p>	<p>子育て中の家庭を地域住民で助け合う有償ボランティア組織であるファミリーサポートセンター事業についてお伺いします。          ファミリーサポートとは、子育てについて手助けしてほしい人(依頼会員)と、お手伝いできる人(提供会員)のネットワークを作り、地域全体で子育て家庭をサポートするものです。          近くに頼れる家族などがない場合でも安心して仕事と育児の両立ができるよう、また、子育て中に急用ができた時など、子どもの預かりや送迎などのサービスを受けることができるものです。          当町は転入家庭も多く、潜在的なニーズも高いと思われます。また、お手伝いできる側としては、主婦の方や退職後の方たちの中には、短時間であればお手伝いをしていきたいという声も聞かれます。          地域の人がみんなで子育てを応援し、子育てに安心できる環境づくりを目指し、当町でもこのシステムの早期開設を検討していくことができないかお伺いします。</p>	町長	



番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
31	坂井 美穂	産後の不安解消～産後ケア拡充について	<p>産後の心身のバランスの乱れは、多くのお母さんが経験することです。この出産後のホルモンバランスの変化が産後うつの主な原因の一つとされています。</p> <p>このように、子育てで負担が最も大きい時期である産前・産後のサポート事業や産後ケア事業の実施は非常に重要であると言われていますが、このような母子保健体制の充実が求められるなか、当町では産後のお母さんに対してどのような支援をされているのでしょうか。また、産後うつの予防をどのように検討されていますか。</p> <p>国では産婦健診費用の助成事業が 2017 年度から始まっておりますが、この導入に対してはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援の実施により、安心して子育てができる体制づくりの観点からご答弁をお願いいたします。</p>	町長	
32	〃	新庁舎～ユニバーサルデザインについて	<p>新庁舎建設の基本方針のひとつに「ユニバーサルデザインを取り入れた、すべての人にとって利用しやすい庁舎」とあります。現在、基本設計もかなり進んでいるようですが、ユニバーサルデザインがどのように取り入れられているのかお聞かせください。</p> <p>また、庁舎本体だけではなく、アプローチや駐車スペースに対してもどのように検討されているのかも伺います。</p>	町長	